



「認知症見守りたい 養成講座」



認知症サポーターでは、物足りない・・・もう少し地域に出て活動したい、認知症についての理解を深めたい方への御案内です。

「認知症見守りたい」とは、認知症などで困っている方を気にかけてたり、専門機関に紹介するなど、支援者とのつなぎ役です。また、各地域包括支援センターと連携し、地域での見守り活動をご紹介するとともに、活動に参加することができます。

日時 平成29年7月13日（木） 13：30～15：30

○認知症の方の事例をもとに理解を深め、対応方法について学ぶ

講師 グループホーム花縁 グループホーム花縁ときわ館

小規模多機能ホーム花縁すずらん館

総合施設長 釜谷 薫 氏（苫小牧キャラバンメイト）

○認知症の方を支える地域づくりと認知症見守りたいの役割と活動について
（苫小牧の認知症施策について）

講師 苫小牧市南地域包括支援センター

認知症地域支援推進員 桃井 直樹 氏

○地域で活動している「認知症見守りたい」の実践報告

講師 認知症見守りたい 工藤 利明 氏



対象 認知症サポーター養成講座を受講した方
場所 苫小牧市民活動センター 3階会議室
定員 40名

〈主催〉 苫小牧市

〈協力〉 苫小牧認知症キャラバン・メイト連絡会

認知症地域支援推進員 伊藤靖代 諸星由美子 桃井直樹

裏面も
ご覧ください。

< お申し込みは下記の電話番号に御連絡ください >

苫小牧市福祉部介護福祉課

電話 32—6347（直通）



～認知症見守りたいの活動とは～

地域の方に関心をもつ

- ⇒ご近所に住む方と道で出会ったら挨拶をする
- ⇒いつもと違う様子があればさりげなく聞いてみる
- ⇒一緒に地域の集まりに参加する 等



認知症見守りたいのステッカー

認知症見守りたいとして登録された方は、ステッカーを自宅の玄関など、みやすいところに貼っていただき、認知症やそのご家族を見守る応援者として地域の方に知ってもらいます。

認知症について相談したい方がいたとき

- ⇒ お話をうかがい、気持ちをくみ取り、ねぎらう
- ⇒ ほっとカフェ(認知症カフェ)を紹介する
- ⇒ 担当の地域包括支援センターを紹介する 等

できる範囲で地域包括支援センターの活動に参加する

- ⇒ 行方不明の方を探す【搜索模擬訓練】に参加し、見守り意識を高める
 - ⇒ 地域で安心して暮らしていくための話し合い【地域ケア会議】に参加し、自分たちができることを考える機会をもつ 等
- ※ 参加については、包括支援センターから御連絡いたします。

認知症になっても安心して暮らせる苦小牧を目指して、
できる範囲で地域を見守り支え合う活動をしませんか？

認知症見守りたい登録について

まず講座を受講し【認知症見守りたい】のご登録をします。ご登録いただいた方には、「認知症見守りたい」のオレンジバッチと自宅玄関等に貼れるステッカーをお渡しします。なお登録内容は、各担当の包括支援センターと共有させていただきます。